

低入札価格調査議事録

日時	平成26年6月26日 13:30～14:00
場所	OIST 第2研究棟B階 B651会議室
出席者	(株)ホカマ 大城 秀俊(取締役 営業部長) 久高 忍(現場代理人) 2名
	OIST 日高 濱野 小佐野 3名
議題	沖縄科学技術大学院大学基幹環境整備(8-3工区植栽その他)工事の低入札価格調査に係るヒアリング

(株)ホカマより6月23日に提出された低入札価格調査に係る資料に関する質疑を行った。説明を受ける中で質問したものを回答と併せて以下に記録する。

- Q. まず、提出された低入札低入札価格調査に係る資料については、この内容で間違いはないと考えてよろしいでしょうか。また、公告で挙げられている質疑の内容(開発完了検査があるため、法面保護(植生シート工)及び宅盤レベルまでのすきとり・埋戻しについては7月27日頃を完成期限とする。)も把握されていると考えてよろしいでしょうか。(OIST)
- A. 低入札価格で応札した背景については提出した資料の内容のとおりです。法面保護及びすきとり・埋戻しの期限についても了承しています。(ホカマ)
- Q. 散水設備・舗装工事は専属業者を使われるということですが、その他の工事は自社雇用の作業員でしょうか。(OIST)
- A. その他工事では、ウッドデッキは資材は宜野湾のGHS沖縄から調達し、施工は専門業者のアドバイス等を受けながら自社作業員で対応します。散水設備・舗装工事は専属下請業者を使いますが、適正な価格で契約します。(ホカマ)
- Q. 中低木植栽はどのように手配されますか。(OIST)
- A. 今帰仁の生産者グループから組合を通さず直接大量に仕入れ、また、生産者に有利な支払条件(現金払)で取引することでコストを抑えることが出来ます。(ホカマ)
- Q. 現場事務所、仮設計画をどのように考えていますか。(OIST)
- A. 他工事で使用している現場事務所の敷地内に入れるのであれば、そこにプレハブをリースして現場事務所を設置したいが、スペースがない場合は恩納村内にアパートを借りて現場事務所とすることも検討しています。(ホカマ)
- Q. 工期が台風の季節と重なるとは思いますが、対策はどのように予定していますか。(OIST)
- A. 台風時は植栽は仮支柱で固定するなどして対策をとります。また、赤土対策については、現場ではブルーシートを被せる、碎石を敷く等の処理をして、裸地を出さないようにします。(ホカマ)
- Q. 現場に技術者は何名常駐しますか。(OIST)
- A. 現場代理人と申請した監理技術者の2名が常駐します。この2名が書類関係のやりとりも行います。(ホカマ)
- Q. 今回工事は、工種によっては完成期限が短いものもあるが、人員配置は問題ないか。(OIST)
- A. 現場代理人、監理技術者、作業員の計画は問題ありません。(ホカマ)
- Q. 経費を低く抑えられた要因は何ですか。(OIST)
- A. 現在造園工事の発注がなく、自社作業員が余っている状況です。何としても今回の工事を受注するため、会社として利益については考えず、経費は切り詰めています。(ホカマ)

その他